

令和5年度事業計画

I 基本方針

この地域における最近の景気は、緩やかに持ち直しています。また、雇用面では、人手不足が見られるなか、デジタル化への対応などにより、社員の学び直しに向けた企業の人材投資が活発化しています。一方で、エネルギー・原材料高、物価の高騰、長引く円安など懸念材料も多く、先行きが見通せない状況にあります。

そして、令和2年度以降、本協会の運営に多大な影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月に感染症法上の分類が5類とされるなど、より一層の企業活動の活性化が期待されるものの、感染拡大の懸念は残っています。

このように、不確実性の高い状況ではありますが、本協会は、地域の重要な課題であり、与えられた使命である労働者の職業能力の開発・向上に着実に取り組んでまいります。

まず、基幹事業である技能検定試験では、新型コロナウイルス感染症の影響等があるものの、受検者数の増加が期待される所であり、感染症対策に柔軟に対応しながら受検者の受検機会の着実な提供に努め、公平、公正かつ、一人一人が安心して受検に臨めるよう、適切に実施してまいります。

教育訓練事業においては、企業活動の活発化を契機に、受講者数の増加が期待され、需要が高まっているオーダーメイド講習など、これまでの経験を活かして多様な企業・団体のニーズに即した講習等を積極的に提供してまいります。

また、国から受託する「若年技能者人材育成支援等事業」においては、ものづくりマイスターによる若年技能者への技術指導に加えて、小中学校等児童・生徒を対象とした「ものづくり体験会」を再開いたします。

さらに、「技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）」が、愛知県で開催されます。これらの大会の開催は、若年技能者の技能のさらなる飛躍への追い風となることが期待され、若者にもものづくりの魅力を広める絶好の機会となります。

この機会を活用して、本県の技能レベルの向上や次世代のものづくりの担い手の確保に向けた土壌づくりなど技能振興に尽力してまいります。

本協会を取り巻く環境は先を見通せない状況が続いておりますが、引き続き事業環境の変化に注視しながら、予算の弾力的かつ、効率的・効果的な執行に努めるとともに、愛知県をはじめ関係機関と強固な連携の下で、諸事業を推進し、本協会の使命を果たしてまいります。

II 事業の内容

第1 協会の管理運営

1 会議

- (1) 総会の開催（1回）
- (2) 理事会の開催（1回）
- (3) 参与会の開催（1回）
- (4) 事業所部会（3回）及び共同訓練部会（2回）の開催

2 広報の実施

- (1) 協会会報「T&T」の作成、配布（2回）
- (2) 協会ホームページの活用（事業の実施状況と各種情報提供）
 - ・技能検定などの各事業の実施状況
 - ・教育訓練事業などの受講者等募集案内
 - ・職業能力開発などの情報提供
 - ・技能五輪などの事業紹介 等
- (3) メールマガジンの配信（月1回）

第2 職業能力開発の振興事業

1 促進事業

- (1) 第73回愛知県職業能力開発促進大会の開催
時 期 令和5年11月10日（金）
場 所 刈谷市総合文化センター
内 容 職業訓練・技能検定功労者表彰 他
- (2) 職業訓練指導員講習（48時間講習）の実施
時 期 第1回：令和5年7月～8月の7日間
第2回：令和6年2月の7日間
場 所 愛知県職業訓練会館
受講者 見込数120人（60人×2回）

2 振興事業

- (1) 事業所や団体などが行う認定職業訓練の支援事業
 - ア 訓練生文化・体育事業
 - (ア) 文化事業
体験発表会・文化展（11月）、技能コンクール（令和6年2月）
 - (イ) 体育事業
オリエンテーリング大会（5月）、体育大会（7月）、
ソフトボール大会（9月）、駅伝大会（12月）
 - イ 職業訓練指導員等研修事業
 - (ア) 職業訓練指導員研修（6月、9月、10月 計3回）
 - (イ) 職業訓練生合同学習（11月）
 - ウ その他
 - (ア) 事業内職業訓練の指導・援助
 - (イ) 普通課程訓練成績優良修了者の表彰
- (2) 次代を担うものづくり人材育成支援事業－あいち技能五輪・アビリンピック推進協議会寄附金活用事業－
第61回技能五輪全国大会及び第43回全国アビリンピックの参加選手強化訓練の実施を支援する。（48人）

第3 教育訓練事業

【新入社員教育等各種講習会】

種 別	回数(回)	受講者見込数(人)
監督者訓練・監督者訓練員養成講習	16	150
階層別研修	27	550
機能別研修	7	110
オーダーメイド講習	61	700
パソコン講習	45	320
計	156	1,830

第4 職業能力評価事業

1 技能検定試験

(1) 受検者見込数

種 別	受検者見込数(人)
定期試験	13,700
随時試験 (外国人技能実習生等対象)	17,100
計	30,800

(2) 実施予定職種数・作業数

級 別	職種数(職種)	作業数(作業)	
定期試験	特 級	25	—
	1・2級	80	131
	3 級	36	49
	単一等級	6	6
随時試験	随時2級	53	86
	随時3級	53	86
	基礎級	53	86

(3) フォローアップ講習等の実施

2 コンピュータサービス技能評価試験

ワープロ部門始め3部門 受験者見込数1000人

3 ビジネス・キャリア検定試験

企業法務・総務分野始め8分野 受験者見込数2,000人

第5 技能五輪推進事業

1 技能五輪愛知県大会（全国大会予選）の実施

実施職種 27職種

※ このうち2職種を「第7若年技能者人材育成支援等事業」として実施。

2 第61回技能五輪全国大会参加選手強化訓練の実施支援(再掲)

※ 「第2-2-(2)次代を担うものづくり人材育成支援事業」として実施。

3 第61回技能五輪全国大会愛知県選手団事務局の運営

愛知県選手団結団式の実施（10月）等

開催日程	令和5年11月17日（金）～19日（日）、21日（火）
競技会場	愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）等

4 第32回技能グランプリ愛知県選手への支援

愛知県選手団結団式の実施（12月～1月）等

開催日程	令和6年2月23日（金）～26日（月）
競技会場	西日本総合展示場（福岡県北九州市）等

第6 愛知県職業訓練会館管理運営事業

認定職業訓練の場を提供するため、愛知県が設置した「愛知県職業訓練会館」の管理及び運営を行う。

第7 若年技能者人材育成支援等事業（国委託事業）

1 ものづくりマイスター等の活用

若年技能者への指導による技能の継承や後継者の育成を支援する。

- (1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助の実施
- (2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施（目標数3, 100人日）
- (3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信（目標数800人日）

※休止中の小中学校等児童・生徒対象「ものづくりの魅力」発信の再開

- (4) 熟練技能者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信

2 ものづくりマイスターの認定・登録

- (1) ものづくりマイスターの認定登録
ものづくりマイスター候補者の発掘
- (2) ものづくりマイスターへの指導技法等講習

3 地域における技能振興

- (1) 技能五輪全国大会の予選の実施等
 - ア 技能五輪全国大会予選の実施（2職種）
 - イ 全国大会（技能五輪・若年者ものづくり競技大会）参加に係る支援

4 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

学識経験者、行政機関、経済団体等関係者との会議の開催（2回）